

個別教育により、人に寄り添い、 社会とつながる法曹を育成。

教育の特色

個別教育の徹底～9月入学制度など、多様な学びの場

■9月入学制度の導入と[後期]科目等履修制度の拡充

第1期入試の合格者は、平成29年9月に入学することを選択し、早期に学修を開始することができます(確定型出願資格が必要)。「平成30年3月卒業見込」等の出願資格の方は、[後期]科目等履修制度拡充により、科目等履修生として平成29年9月より法律基本科目を中心に履修することができるようになり、9月入学者と同じように、学修をすぐにスタートできます。修得した単位は4月の入学後に認定されます。

■ステップアップカリキュラム

授業はすべて完全セメスター制で行います。同制度のもと、一部例外を除き、前後期双方に同一科目が配置されており、基礎と応用がシームレスに学べるように工夫されています。また、年度内再履修制度により、半期ごとに苦手科目のリカバリーが可能ですので、学習効果が倍増します。

■少人数教育とクラス担任制

学生15名に対して専任教員1名を配置することが法科大学院の設置基準になっています。駒澤大学法科大学院では、入学定員36名・収容定員108名に対して15名の専任教員を配置。兼任教員4名、兼任教員25名・客員教授1名を加えた45名で充実した授業を展開していきます。

個別教育を行うための環境を整えるとともに、履修や進路に関するきめ細かな指導・相談ができるように、クラス担任制を採用し各学生につき電子カルテを作成しています。

■第一線の研究者教員と実務家教員

15名の専任教員のうち、担任を担う教員は12名。アメリカの有名ロースクール修了者など、50歳代を中心とした気鋭の教員で構成されています。

また、実務家教員は企業法務や弁護士業務の第一線で活躍されている方や裁判官出身者などで構成され、法曹としての長年の経験を生かした実務教育を展開しています。

■充実した施設・設備の専用棟

最寄り駅は、東急田園都市線で渋谷から3つ目の「駒沢大学」駅。駒沢キャンパスは駅から徒歩10分ほどの好立地ですが、法科大学院はさらに駅に近い徒歩4分の場所に専用校舎を用意しています。

■キャレデスク(自習用個人机)と個人ロッカー

専用の校舎には、周囲から独立した空間を確保できるキャレデスクを人数分確保。各人専用のロッカーも用意しています。

■飛び入学と長期履修学生の制度

未修者(標準3年)コースと既修者(短縮2年)コースのいずれにも大学卒業を待たずに進学できる飛び入学制度を用意。また、事前に在学期間を4年・5年・6年のいずれかに設定できる長期履修学生の制度も設けました。

■経済的支援と心身の健康管理

金融機関と提携した就学支援のローンや、成績優秀者に授業料の全額または半額を給付する奨学金制度も用意。大学キャンパスの福利厚生施設や図書館なども自由に利用していただくことができます。

カリキュラム

夜間・土曜開講開始! 第一東京弁護士会との提携。

法曹養成に特化した教育を行うという法科大学院の理念にもとづいた体系的カリキュラムを編成しています。

入学定員36名という少数精鋭の少人数教育を特色とし、ソクラティックメソッドによる双方向的授業を重視。展開・先端科目では、系統的な学修によって法曹としての専門分野を確立し、複眼的な視野を養うために多様な科目選択ができるように工夫しています。

法律実務基礎科目のうち、「エクスターンシップ」「リーガル・クリニック」については、

入学検定料の大幅引き下げ

未修者コース・既修者コースともに、入学検定料は一律5000円です(既修・未修併願でも5000円)。

法曹養成研究科

●入学定員

36名(未修者コース24名/既修者コース12名)

●修業年限・取得学位

未修者(標準3年)コース
既修者(短縮2年)コース
各コース修了者に専門職学位を授与

●教員数

専任教員(実務家5名を含む) 15名
客員教授 1名
兼任教員 4名
兼任教員 25名

第一東京弁護士会と提携して実施します。

また、2015年度より、有職者である既修者向けに、基本的に夜間及び土曜日のみで必要単位数を履修し修了できる時間割を作成しています。

夜間・土曜履修希望者が標準の修業年限を超えて学ぶことを希望する場合も、長期履修学生として在学期間を設定することができます。

施設・設備

駒澤大学駅至近の専用校舎には、152人分の学生自習室キャレデスクとロッカーを用意。図書室には、充実した判例集、必要な教科書・参考書を含め、約15,000冊以上の雑誌・図書を配架。もちろん、ネット環境も整備されています。

これらの施設は、期末試験前は24時間利用可能となります。また、修了後も、司法研究所研修員として利用可能です。



選抜方式

法科大学院は、法曹養成という公共的責務を社会に対して負うことになります。ですから、法科大学院の入学選抜は、透明かつ公平なものでなければなりません。本学法科大学院の教育理念等に共鳴されて志願される皆さんに対して、その出身学部を問わず、その門戸が大きく開かれていることが必要です。そのような理念のもと、本大学院では下記のように入試制度を定めております。

●試験日程等

<第1期入試>

出願期間:2017年7月18日(火)～
7月25日(火)消印有効
試験日:A日程2017年8月2日(水)
B日程2017年8月6日(日)

試験日は、A・B日程いずれかを志願者が選択。
合格発表:2017年8月8日(火)

<第2期入試>

出願期間:2017年10月23日(月)～
10月30日(月)消印有効
試験日:2017年11月12日(日)
合格発表:2017年11月16日(木)

<第3期入試>

※東京・新潟・名古屋・福岡の全国4会場で開催
出願期間:2018年1月9日(火)～
1月22日(月)消印有効

試験日:2018年2月4日(日)
合格発表:2018年2月9日(金)

<第4期入試>

出願期間:2018年2月13日(火)～
2月19日(月)消印有効
試験日:2018年2月25日(日)
合格発表:2018年3月2日(金)

<選考方法および試験内容>

・未修者コース第1期

【来校不要型】(自己アピール書)(適性試験成績)(適性試験第4部)⇒書類審査のみ。
【小論文追加受験型】(自己アピール書)(適性試験成績)(適性試験第4部と大学独自小論文のうち得点の高いもの)

・未修者コース第2期～第4期(自己アピール書)(適性試験成績)(面接)
・既修者コース第1期～第4期(自己アピール書)(適性試験成績)(面接)(法律試験[憲法・民法・刑法])

●移行合格制度(併願)について

出願時に移行合格制度の適用を希望した既修者コース出願者に対しては、まず既修者として合否判定を行い、既修者の合格基準を満たさなかった場合は、さらに未修者として合否判定を行います(受験料は5000円)。

●既修者の単位認定

既修者コース入学者は、1年次配置の憲法・民法・刑法(計24単位)を認定します。1年次に配置している必修科目のうち、入学試験を課さない科目については、入学後の単位認定試験または入学前の科目等履修により、科目ごとの認定が可能です[最大10単位]。

●社会人・非法学部出身者優先合格枠

社会人および非法学部出身者を募集定員の3割以上確保する目的で、「社会人・非法学部出身者優先合格枠」を設けます。

入試相談会

2017年7月1日(土)10:00～
駒澤大学大学院 法曹養成研究科(法科大学院)の入試に関する情報をお知らせします。事前予約や申し込みは必要ありませんので、是非ご参加ください。

授業料・奨学金

優秀な法曹の養成のために 最大限の助成を実施。

●学費

学費は入学金(初年度のみ徴収)、施設費、授業料等によって構成されます。なお、「エクスターンシップ」「リーガル・クリニック」を履修する場合は、実習費が別途必要になります。

(参考)2017年度

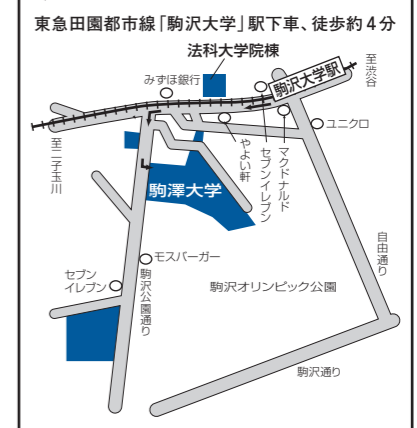
	駒澤大学卒業生	他大学卒業生
入学金	120,000円	250,000円
授業料	650,000円	650,000円
施設費	300,000円	300,000円
教育後援会入会金	—	5,000円
教育後援会費10,000円	10,000円	10,000円
同窓会費	—	30,000円
総計	1,080,000円	1,245,000円

●奨学金制度

適性試験成績優秀者(上位50%以上)及び入試成績優秀者に「駒澤大学法科大学院特別奨学金」「駒澤大学法科大学院新入生奨学金」を適用し、適性試験または入試成績に従って、授業料全額相当額または授業料半額相当額を給付いたします。対象者には、合格通知に採用内定通知を同封いたします。

また、入学後(次年度以降)については、前年度の成績(9月入学者は前年度後期及び当該年度前期の成績をもって前年度とみなす)に従って、成績優秀者には、「駒澤大学法科大学院特別奨学金」の継続または「駒澤大学法科大学院奨学金」の適用により、授業料全額相当額または授業料半額相当額を給付いたします。

◆アクセス



●問い合わせ先

〒154-0012
東京都世田谷区駒沢2-12-5
駒澤大学法科大学院 教務部法科大学院係
Tel 03-5712-4703 Fax 03-5712-4704
E-mail klawgs@komazawa-u.ac.jp
URL https://www.komazawa-u.ac.jp/lawschool/